

第31期新潟市社会教育委員会議

実施年月日	第8回 平成27年9月18日(金) 実施		
会場	クロスパルにいがた4階403講座室	傍聴人	0人
会議内容	1. 開会 2. 協議事項 (1) 第31期新潟市社会教育委員会議建議について 3. その他 4. 閉会		
出席者	【社会教育委員】 荻原 富士子 小川 崇 神林 むつみ 雲尾 周 齊川 豊 佐々木美枝子 鶴巻 清美 本間 莉恵 本間 庸子 松木 俊二 【事務局】 三保生涯学習センター所長 枝並地域教育推進課長補佐 丸山中央公民館長補佐 小林中央図書館企画管理課長補佐 真柄中央図書館サービス課長補佐 生涯学習センター(井関次長, 鈴木次長補佐, 長谷川係長, 井浦主査, 野坂主査)		
会議録	<p>1. 開会 (事務局)</p> <p>これより、第31期新潟市社会教育委員会議(第8回)を開催いたします。</p> <p>本日は、佐藤委員から欠席のご連絡をいただいています。また、新潟市社会教育委員の会議運営規則第9条に定める開催に必要な人数を満たしていることをご報告します。</p> <p>本日の傍聴希望者はありません。当会議については、会議録作成の必要がありますので、録音させていただきますことをご了承ください。</p> <p>なお、議会開会中につき、本日、長浜教育次長は欠席となります。</p> <p>2. 協議事項(1) 第31期新潟市社会教育委員会議建議について (雲尾議長)</p> <p>9月7日に開催した小委員会からの提案事項ということでご説明させていただきます。</p> <p>建議のテーマは「新潟市の生涯学習のあるべき姿」(方向性)ということです。上位計画との整合と検証をとるということで、上位計画には「にいがた未来ビジョン」、「新潟市教育ビジョン」があり、検証するものとして、新潟市生涯学習推進基本計画及びその成果、第30期社会教育委員会議報告書「新潟市の生涯学習の推進に向けて」、市民意識調査結果などです。これらのことを踏まえて、建議基本方針の構築が「学・社・民の融合による人づくり、地域づくり」という一つの柱。二つ目の柱として、「学習成果を生かす循環型生涯学習の推進」。ここまでの前回の会議で確認がとれたところでございます。</p> <p>小委員会では、今後の展開の中で役割分担やスケジュール概要について協議しました。小委員会としては建議書原案を作成したり、校正作業をしたりすると。各委員の方々には、学・社・民の融合に関する意見交換や集約方法を意見交換していただき、集約を行っていただくと。</p> <p>「学・社・民の融合による人づくり、地域づくり」という柱についてお話をさせていただくにあたり、学校教育、社会教育機関、民間にそれぞれ分かれて、小グループで話し合っていただくのが良いのではないかとということでグループ制をとります。これは後でまたご説明いたします。</p> <p>等々を経て建議書案を作り、また全体で討論を行っていく。そして関係課内プロジェクトチームと事務局はこれらの意見交換をフォローしたり、情報提供を行っていくという形で進めていったら良いのではないかとことです。今後のスケジュール概要にあるように、今日は「学・社・民の融合」に関する意見交換の集約を行い、それらを進めていき、最終的に建議を出す形になります。</p>		

第31期新潟市社会教育委員会議

資料2は、建議の構成・モデル（イメージ）です。一般的に建議を出すという形になるということで、必ずしもこの形にはこだわりません。「生涯学習の現状」、「本市の生涯学習・社会教育の課題」という今までの部分を書いたうえで、「本市の生涯学習の目指すところ」。その中の1つ目の「学・社・民」のところについて、本日進めていただくと。「学びの循環」も後でまとめていきます。「実現のための施策についての提案」という形で（1）から（13）？となっているのは、前回の生涯学習推進基本計画では基本施策が13だったので、それらを審議・統合していくと、もう少し減るのではないかと。整理して減っていく、あるいは新たなものがあるかもしれませんが。

本日、学・社・民に分かれて話し合いをしていただく時に「学・社・民の融合による人づくり、地域づくり」という話の中で、皆様のご専門や選出基準等から考え、日頃の活動や見識の中からご意見をいただければということで、3人ずつのグループを組ませていただきました。この中で、例えば学校教育であれば、今までの学・社・民の融合の観点から見て、新潟市の学校教育はこのような成果を果たしてきている。こういうところがうまく回っている。しかし、まだこういったところが課題としてある。そういった課題を解決していくために社会教育機関あるいは民間との連携、融合等をどのように進めていくべきかということを具体的に話し合っていたきたいというのが今日の意見交換です。

そういった話をしていく中で、生涯学習の本市の現状や課題というものも当然話されるので、展開によっては、そのまま本市の生涯学習の目指すところになるかもしれないということです。それぞれのグループの中で、学校教育の側、社会教育の側、地域の側においては一体どのような現状にあって、どのような成果を果たしてきたか。そしてどういった課題があるのか。その課題を解決していくためにどのような方向性、学・社・民の融合をうまく活かして、どのように人づくり、地域づくりをしていくと課題が解決できるだろうかということをお三人で話し合ってもらいたい。それが今日の目指すところでございます。

今日は佐藤委員がご欠席ですので、荏原委員、本間委員はお二人です。議長、副議長はグループに入っておりませんのでそちらに入ったり、あるいは学・社の部分に入ったりという形でグループ形成をしています。

以上のところが、今後の展開や役割分担などの説明です。この小委員会の提案事項につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお聞かせ願いたいと思います。いかがでしょうか。

（齊川委員）

おおよその流れは十分分かったのですが、グループ討論は今日だけではなくて、第5回、第6回会議まで続くのでしょうか。つまり、今日、成果、課題、課題解決のためのという三つの柱について話し合いますが、最後の結論まで出すということではなくて、今日は成果と課題について話し合ってから、次回までに課題解決についての方策等について考えてきて話し合おうということでしょうか。

（雲尾議長）

それは展開にかかわるので、会議日程案の説明を先にやさせていただきます。お願いいたします。

（生涯学習センター次長補佐）

今後の会議日程の案についてお示しさせていただきます。平成27年度第1回目の5月から8月までの部分は資料4の上段の網掛け部分です。このような内容でご議論、ご討論いただいていたところですが、9月以降ですが、本会議での議論・討論の内容を小委員会にフィードバックし、その結果を本会議でご審議いただくということを繰り返しながら、2月の最終案づくりに向けて作業を進めていくという日程を組み立てました。10月の小委員会と全体会、12月の全体会、2月の小委員会が当初案でお示した日程と違っているところです。予算等を勘案し、基本的には毎月、小委員会と全体会のキャッチボールをしていただきながら建議づくりを進めていくという形で、小委員会にお諮りしたところです。この本会議でご検討いただきたいと思います。

（雲尾議長）

そういうペースで進めていく中で、できれば、これからの方策についてまで出していただけると

第3 1期新潟市社会教育委員会議

ありがたいと思っています。そうしますと15日の小委員会でそれらを三者のところから見た方向を取りまとめて、第4回会議に提案できる。一つ目の柱について提案できる。ということですので、まとめていただくとありがたいと思います。

(本間(庸)委員)

グループについてなのですが、これはそれぞれ関わりのある方が関わりのあるところに分けられていると思うのですが、私は公民館と図書館のところで、正直分らないのですが。

(雲尾議長)

担当課が公民館と図書館ということであって、社会教育という部分で、PTAとしての社会教育団体ということで、そちらからの観点から見ていただいているという趣旨です。「民」のグループかなということもあったのですが。

(本間(庸)委員)

わかりました。

(雲尾議長)

その他いかがでしょうか。

それでは、小委員会提案の形で進めていただくことについて、よろしいでしょうか。【異議なし】
会議日程については、回数が増えますが進めさせていただくということで、こちらについてもよろしいでしょうか。【異議なし】

ありがとうございます。資料5については、皆様からいただいた意見等を組み込んで表示してあります。前計画の施策体系に当てはめているので、こういった施策等を踏まえて議論していただくための参考資料としてお配りしています。基本施策については組み替えていく予定ですので、このままの形で使われるということではありません。それを念頭に置いて話し合いの資料として活用していただければ良いかと思います。

9月7日の小委員会について皆様にご案内を差し上げました。小委員会の委員は本間莉恵委員、小川副議長、雲尾議長の3人ですが、今後は小委員会の日程について皆様にお知らせしますので、参加を希望される方は、ご出席いただいて構いません。

全体を通して何かご意見、ご質問等がありますでしょうか。

(齊川委員)

会議日程はまだ決まっていないようですが、学校サイドでは4月段階で色々な行事が決まっていますので、私共としてはできるだけこの会議に出席したいという考えのもと、なるべく都合をつけたいと思っているので、決まり次第、お聞かせ願えればと思っております。お願いいたします。

(雲尾議長)

その他、よろしいでしょうか。

それでは「学・社・民の融合に人づくり、地域づくり」について、グループに分かれて新潟市の生涯学習の目指す方向について討議いただきます。生涯学習全体を見る時に新潟市の場合は「学・社・民の融合」を掲げていますので、学校教育の側、社会教育の側、民間側、それぞれの方向から見たものを色々とご提案いただき、それをトータルして見ていくと一つの生涯学習の方向が浮かび上がるのではないかとということです。それぞれ学校教育の立場から、社会教育の立場から、民間の立場から、新潟市の施策の成果などをお話し合いいただき、課題を確認し合い、その課題を解決するために学・社・民の融合というものがどのように貢献することができるかということをお話いただきたいと思います。最終的には課題解決のために学・社・民の融合があるように見えますが、実はそれが生涯学習のあるべき姿につながっていくのではないかとということです。そのようなことを踏まえて、それぞれから話していただければと思っておりますので、各グループで資料5などを基にしながら進めていただきたいと思います。文章化していただくと一番ありがたいのですが、小委員会で集約しますので、箇条書きやキーワードのような形でも良いので、話し合いを自由に進めてください。会議中に意見がまとまらなければ、各グループで連絡調整のうえ10月5日までにまとめ、事務局に提出していただければ小委員会で検討できますので、そういった形で進めていただきたいと思います。

第31期新潟市社会教育委員会議

と思います。11時40分位までの1時間半ほどを討議に充てたいと思います。
適宜、私や小川副議長が出入りしますので、各グループでよろしく進めていただきたいと思います。

(事務局)

この後、机の並びを私達事務局で変えますので、お手元の資料をお持ちになってお待ちください。

— 休 憩 —

— 学・社・民の3つのグループに分かれて討議 —

3. その他

(雲尾議長)

それでは、時間となりましたので討議を終了してください。

前回会議でお諮りした11月5日、6日の第46回関東甲信越静社会教育研究大会群馬大会は、荏原委員から出席していただくことになりました。荏原委員、よろしく願いいたします。出席後は、レポートと報告をお願いいたします。

その他、何かございますか。【意見なし】

よろしいでしょうか。それでは進行を事務局にお返しします。

4. 閉会

(事務局)

では、以上をもちまして、第31期社会教育委員会議(第8回)を終了いたします。大変お疲れ様でございました。次回は10月21日(水)午後3時から、クロスパルにいがた405講座室を予定しておりますので、よろしく願いいたします。